

令和5年度第2回市民協働推進会議・
令和4年度公益活動事業補助金事業報告会 会議録

日 時	令和5年7月5日(水) 19:00~20:00
会 場	北広島市役所3階 会議室3C・D
出席委員	橘会長、山口委員、高嶋委員、原口委員、米一委員
傍 聴 者	0名
市出席者	【市民環境部】阿部部長、山田次長 【市民生活課】高橋課長、立野主査、中島主事

1. 開会

「委員の過半数が出席していることから、会議が成立していること」を確認。

2. 評価についての事前説明

立野主査から制度概要及び評価方法等を委員に説明。

3. 事業報告会

《令和4年度申請 ふれあいステーションほっと運営委員会》 発表

導入前後でオンラインと現地開催での参加者数に大きな変化は見られなかった。要因としては、感染状況が落ち着き来館できるようになったことや、高齢者にとってスマートフォンからのオンライン参加はハードルが高く、現地で顔を合わせることで安心するなどの意見があった。

また、3月29日には、特別企画として演奏会を実施し、現地開催とは別に、購入したプロジェクターとWi-Fiルーターを活用しサテライト会場からオンラインでの開催も実施した。会場31名、サテライト会場20名の計51名の参加があり、大いに楽しむことができ、導入の成果と言える事業となった。

Wi-Fi環境の導入により、各教室の参加者が「調べる」「参考にする」などにより学習を深めることができ、活動の幅が広がったとの意見もあった。

前述のとおり、教室の主催者や来館者がインターネット環境の下で施設を利用できることにより、遠隔交流や情報収集を行い、各種活動に生かすことが期待できるなど、より教室等各種事業の充実が図られる。今後も、新たなコミュニティツールとして、年配の方や障害のある方々にも楽しんで利用いただけるような仕組みを検討していくとともに、在宅での参加も可能とするためのスマートフォン講座の開催を検討している。

～事前質問～

○従来から実施していたオンライン環境と、新しく購入した機器の利用でどのように活動が変わったか。

●従前は北ひろしま福祉会の備品を借用していたが、備品の予約状況を気にすることなく活用できる環境になった。受発信が可能になったことで地域に活動を発信できるようになった。Youtubeを講座に利用するなど活動が広がった。

～質疑応答～

○A委員

自前プロジェクターの利用でどのくらい活動機会は増えたのか。

●ふれあいステーションほっと運営委員会

80～90%くらい増加した。今までは貸主の都合も気にしながら借りていたのが大変助かった。

○B 委員

Wi-Fi のつなぎ方の指導のようなことも行っていたのか。

●ふれあいステーションほっと運営委員会

Wi-Fi 環境のない人もいる。持っているスマホにセキュリティが付いていれば接続していたが、付いていなければ遠慮していただいたので、人によっては繋げなかった。

4. 協議事項※ここからは非公開

《令和4年度 公益活動事業補助金 事業評価》

5. その他

6. 閉会